

平成17年11月18日

各位

会社名 株式会社名村造船所
 代表者名 代表取締役社長 名村 建彦
 (コード番号 7014 大証 第1部)
 問合せ先 取締役兼常務執行役員経営業務本部長
 井関 延行
 (TEL 06-6543-3561)

業績予想の修正について

平成18年3月期(平成17年4月1日~平成18年3月31日)の業績予想につきまして、下表のとおり修正いたします。

1. 連結業績予想の修正について

平成17年9月中間期(平成17年4月1日~平成17年9月30日)

(以降の記載金額は百万円未満を四捨五入して表示しております)

	単位	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表(A) (平成17年10月20日発表)	百万円	39,200	240	25
今回修正(B)	百万円	38,963	253	38
増減額(B)-(A)	百万円	237	13	63
増減率	%	0.6	5.6	-
ご参考:前中間期(H16.9)実績	百万円	33,263	37	10

平成18年3月期通期(平成17年4月1日~平成18年3月31日)

	単位	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表(A) (平成17年5月20日発表)	百万円	72,300	1,060	1,460
今回修正予想(B)	百万円	72,300	100	700
増減額(B)-(A)	百万円	-	960	760
増減率	%	-	-	-
ご参考:前期(H17.3)実績	百万円	69,842	585	54

2. 単体業績予想の修正について

平成17年9月中間期(平成17年4月1日~平成17年9月30日)

	単位	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表(A) (平成17年10月20日発表)	百万円	29,600	400	450
今回修正(B)	百万円	29,633	386	443
増減額(B)-(A)	百万円	33	14	7
増減率	%	0.1	-	-
ご参考:前中間期(H16.9)実績	百万円	25,468	708	410

平成18年3月期通期(平成17年4月1日~平成18年3月31日)

	単位	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表(A) (平成17年5月20日発表)	百万円	55,000	2,360	2,360
今回修正予想(B)	百万円	53,900	1,450	1,600
増減額(B)-(A)	百万円	1,100	910	760
増減率	%	2.0	-	-
ご参考:前期(H17.3)実績	百万円	53,817	662	716

3. 修正の理由

上記修正の主な理由は、以下のとおりであります。

平成17年9月中間期(連結)当期純利益の再修正は、連結子会社が連結財務諸表提出会社(当社)との株式交換により保有していた当社株式の売却益を、その他資本剰余金に組替えたことによるものであります。

平成18年3月期通期(連結)業績予想の上方修正の主たる理由は、連結財務諸表提出会社(当社)の平成18年3月期通期(単体)の業績予想の修正によるものであります。

売上高につきましては、橋梁・鉄鋼構造物工事において、公共事業量削減あるいは鋼鉄製橋梁の独占禁止法違反問題発生による発注の延期や受注物件の小型化など厳しい環境となることが想定されますが、円安傾向に加え、連結子会社の事業環境の好転と営業強化等が期待できることから、ほぼ期初予想通りに進捗するものと予想しております。一方、損益面におきましては、依然として船用資機材価格の当初予想以上の上昇が懸念されますが、昨今の円安傾向とともに、全社一丸となって取り組んでおりますコスト削減策が軌道に乗り始めたことにより、通期業績予想の修正をすることといたしました。

期初の通期業績予想におきましては、1米ドル当たり105円を前提としておりましたが、直近の為替動向に鑑み、下期は1米ドル当たり110円を前提に修正いたしました。下期に竣工引渡しを予定する船舶の売上に係る未ヘッジ米ドル額は19百万ドルであります。

なお、鋼鉄製橋梁工事に関して公正取引委員会からの排除勧告に応諾したことによる業績への影響は不明であることから、今回の業績予想には反映させておりません。

また、上記予想は本資料の発表日現在において、入手可能な情報に基づき作成したものであり、経済情勢・為替相場変動によるリスク等不確定要因により、実際の業績は記載の予想数値と異なる可能性があります。

以 上